



## 平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成25年8月9日

上場会社名 株式会社駅探 上場取引所 東  
 コード番号 3646 URL http://ekitan.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 太郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート部長 (氏名) 秦野 元秀 TEL 03-6252-3671  
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第1四半期の業績（平成25年4月1日～平成25年6月30日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	671	△1.4	97	29.1	97	30.9	59	31.9
25年3月期第1四半期	681	2.2	75	△53.6	74	△54.2	45	△51.6

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	9.67	—
25年3月期第1四半期	7.01	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載していません。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	2,307	1,975	85.6
25年3月期	2,338	1,978	84.6

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 1,975百万円 25年3月期 1,978百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
26年3月期	—				
26年3月期(予想)		10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成26年3月期の業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,240	△2.1	167	42.0	163	42.9	100	43.5	16.16
通期	2,442	△8.0	335	△37.0	336	△36.6	208	△33.8	33.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期1Q	6,888,800株	25年3月期	6,888,800株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	700,316株	25年3月期	700,316株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期1Q	6,188,484株	25年3月期1Q	6,472,000株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

決算補足資料は平成25年8月9日（金）に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第1四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、緩やかながら景気は回復基調となりました。円安に伴う輸出採算の向上により製造業の収益が改善し、設備投資等における企業マインドも回復の兆しがみられました。また、円安・株高や経済政策への期待等から消費者マインドも改善傾向にありますが、消費税増税論議に加え、雇用、将来に対する不安は依然として強く、本格的な景気回復には至らない状況で推移いたしました。

このような経済環境のもと、当社では中期的な事業方針に基づき、駅探モバイル事業及びASPライセンス・広告事業において、有力な事業パートナーとの協業や提携の検討を進めるなど積極的な事業展開を図ってまいりました。また、サービスレベルの向上や顧客ニーズへの対応に向け、引き続き乗換検索エンジンの強化を図るなど事業基盤の整備にも注力いたしました。

このような結果、売上高は671,767千円（前年同四半期比1.4%減）、営業利益は97,336千円（前年同四半期比29.1%増）、経常利益は97,345千円（前年同四半期比30.9%増）、四半期純利益は59,823千円（前年同四半期比31.9%増）となりました。

各セグメントの状況は次のとおりです。

#### （駅探モバイル事業）

駅探モバイル事業におきましては、スマートフォンにおける有料会員獲得と売上の向上のため、積極的な販売促進やプロモーションを展開いたしました。国際便の運行情報等、豊富な機能を持つ高単価メニュー「駅探プライム」コースの拡販に注力した結果、売上の向上に寄与いたしました。スマートフォンサイトにおける有料会員数は平成25年6月末現在で30万人を超え、有料会員約70万人に占めるスマートフォンの有料会員比率は増加しております。あわせて有力なパートナーとの提携強化を複数進めており、協業案件での一時売上や、会員限定の優待割引特典を利用できる「駅探バリューDays」のサービス開始に向け準備を進めるなど、新たな売上や有料会員の獲得に努めております。

一方、スマートフォンの普及に伴い、従来型携帯電話における有料会員数は減少しておりますが、スマートフォンへの機種変更時に有料会員の引き継ぎをスムーズに行えるようにするなど、退会防止に努めております。

以上のような取組の結果、駅探モバイル事業の売上高は490,126千円（前年同四半期比29.8%増）、セグメント利益は116,730千円（前年同四半期比48.9%増）となりました。

（ASPライセンス・広告事業）

ASPライセンス事業におきましては、既存顧客への乗換案内ASPサービスの提供が堅調に推移したこと、データ運用業務の受託や交通事業者からの案件を受注できたこと等が売上に寄与いたしました。また、事業者のスマートフォン対応に向けた開発や新たな交通事業者の開拓等、積極的な提案営業を展開いたしました。一方で、競合との競争激化、昨年度に起きた契約条件の見直しによる売上への影響、一部クライアントの乗換案内サービスからの撤退等が顕在化するなど、一層、事業環境は厳しいものになっております。広告事業におきましては、既存先と取引拡大や、スマートフォンを介したPCサイトのページビューが増加するなど実績型の広告も堅調となり、全般に好調に推移いたしました。

以上のような取組の結果、ASPライセンス・広告事業の売上高は181,641千円（前年同四半期比40.1%減）、セグメント利益は34,502千円（前年同四半期比43.8%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産の部）

当第1四半期会計期間末における流動資産の残高は1,829,432千円で、前事業年度末に比べて96,570千円減少しております。売掛金が前事業年度末に比べ107,552千円減少したことが主な要因であります。当第1四半期会計期間末における固定資産の残高は478,359千円で、前事業年度末に比べて65,665千円増加しております。関係会社株式の増加49,000千円が主な要因であります。

（負債の部）

当第1四半期会計期間末における流動負債の残高は331,827千円で、前事業年度末に比べて28,842千円減少しております。法人税の支払いによる未払法人税等の減少37,438千円が主な要因であります。

（純資産の部）

当第1四半期会計期間末における純資産の残高は1,975,964千円で、前事業年度末に比べて2,061千円減少しております。四半期純利益59,823千円を計上したものの、配当金の支払いが61,884千円発生したことが要因であります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の業績予想につきましては、本日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,167,441	1,213,937
売掛金	659,469	551,917
仕掛品	—	264
原材料及び貯蔵品	34	76
その他	102,470	65,970
貸倒引当金	△3,413	△2,735
流動資産合計	1,926,002	1,829,432
固定資産		
有形固定資産	39,727	37,514
無形固定資産		
ソフトウェア	250,367	237,426
その他	29,560	63,893
無形固定資産合計	279,928	301,320
投資その他の資産	93,038	139,524
固定資産合計	412,693	478,359
資産合計	2,338,696	2,307,791
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	54,877	62,352
未払金	106,702	143,451
未払法人税等	59,333	21,895
賞与引当金	47,326	22,703
役員賞与引当金	6,550	—
返品調整引当金	11	10
資産除去債務	7,150	7,150
その他	78,719	74,264
流動負債合計	360,670	331,827
負債合計	360,670	331,827
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	291,956	291,956
資本剰余金	291,956	291,956
利益剰余金	1,726,506	1,724,444
自己株式	△332,392	△332,392
株主資本合計	1,978,025	1,975,964
純資産合計	1,978,025	1,975,964
負債純資産合計	2,338,696	2,307,791

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	681,100	671,767
売上原価	319,163	234,153
売上総利益	361,936	437,613
販売費及び一般管理費	286,526	340,276
営業利益	75,410	97,336
営業外収益		
有価証券利息	74	—
為替差益	—	8
営業外収益合計	74	8
営業外費用		
自己株式取得費用	1,086	—
為替差損	9	—
営業外費用合計	1,095	—
経常利益	74,390	97,345
特別損失		
固定資産除却損	733	535
特別損失合計	733	535
税引前四半期純利益	73,657	96,809
法人税、住民税及び事業税	10,890	20,717
法人税等調整額	17,399	16,268
法人税等合計	28,289	36,985
四半期純利益	45,367	59,823

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。